

令和6年度第4回理事会の開催

令和6年度第4回理事会が令和6年9月10日、本会会議室及びインターネットを用いたオンライン出席を併用して開催された。本理事会では、決議事項として1議案について諮られ、承認された。協議事項及び説明・報告事項の後、連絡事項として当面の主要会議等の開催計画に関する件等の説明がなされた。議事概要は以下のとおりである。

令和6年度第4回理事会の議事概要

I 日時 令和6年9月10日(火) 13:30～16:30

II 場所 日本獣医師会大会議室

III 出席者 (*はオンラインによる出席者)

【会長】 藏内勇夫

【副会長】 砂原和文, 鳥海 弘, 栗本まさ子

【専務理事】 伏見啓二

【地区理事】 田村 豊 (北海道地区)*

小山田富弥 (東北地区)*

宇佐美 晃 (関東地区)

上野弘道 (東京地区)

山田有仁 (中部地区)

西山治生 (近畿地区)*

高島一昭 (中国地区)

戒能 豪 (四国地区)*

草場治雄 (九州地区)

【職域理事】 佐藤れえ子 (学術・教育・研究職域理事)

立川文雄 (産業動物臨床)

森 尚志 (小動物臨床)

横尾 彰 (家畜共済)

片岡辰一郎 (家畜防疫・衛生)

加地祥文 (公衆衛生)

佐伯 潤 (動物福祉・愛護)

石橋朋子 (特任)

【監事】 市川陽一郎, 佐々木一弥*, 柴山隆史*

【顧問】 酒井健夫, 村中志朗

IV 議事

【決議事項】

第1号議案 賛助会員の入会に関する件

【協議事項】

本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

【説明・報告事項】

1 マイクロチップの登録等に関する件

2 政策提言活動等に関する件

3 認定・専門獣医師制度に関する件

4 第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (令和6

年度)の開催等に関する件

5 令和6年度動物愛護週間中央行事及び2024動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”の開催に関する件

6 第23回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会の開催に関する件

7 世界獣医師会大会 (WVAC) の日本開催に関する件

8 特別委員会及び部会委員会に関する件

9 公益社団法人日本獣医師会 藏内勇夫会長 世界獣医師会 (WVA) 次期会長就任祝賀会に関する件

10 職務執行状況に関する件 (業務運営概況等を含む)

【その他の報告・連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

V 会議概要

【開 会】

事務局から定款第41条に規定された定足数を満たし、本理事会が成立することが報告され、開会した。

【会長挨拶】

本日はお忙しい中、本年度第4回理事会にご出席をいただき誠にありがとうございます。

さて、去る6月26日、本会の第81回通常総会におきまして、新たな役員として伏見専務理事、石橋特任理事に就任をいただきました。このお二人を迎え各種課題の解決に努めたいと思いますので、引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

能登半島地震に対する支援活動が一段落したのもつかの間、非常に速度の遅い台風10号が迷走し記録的な大雨を降らせ、全国的な被害が報道されております。本災害により犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された方をはじめ被災地域の地方獣医師会及び会員獣医師の皆様にご心からお見舞いを申し上げます。

今回も南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意発表の際と同様、台風の上陸前から、本会の危機管理室の統括

である佐伯理事の指導の下、速やかに地方獣医師会あて会員構成獣医師への注意喚起と被災情報の共有を依頼したところです。本会では引き続き被災状況の情報の収集に努め支援対応の準備に努めているところでございますので、今後ともご協力のほどよろしくお願ひいたします。

さて、8月24日にフィリピン、マニラにおいて開催されましたアジア大洋州医師会連合（CMAAO）の第38回総会において、アジア・オセアニア地域における医師との連携によるワンヘルスの普及推進のため、アジア獣医師会連合（FAVA）とCMAAOとの間でワンヘルス活動協力のための覚書を締結したところでございます。

一方、WVA次期会長として執行部会議をはじめとする定期開催の各種会議においても、世界各国の獣医師がワンヘルス活動を主導的に取り組み、その重責を果たすことにより獣医師の地位向上が図れるよう精力的に活動しております。その活動の一環として、世界中の獣医師が一堂に会しワンヘルスの実践活動の取組推進を決起する機会として、2026年の第41回世界獣医師大会（WVAC）を31年ぶりに日本で開催することといたしました。本大会は2026年4月21日から24日まで東京国際フォーラムで開催することとして準備を進めているところであり、皆様方には特段のご支援をよろしくお願い申し上げます。

8月末から全国8地区で獣医師大会・地区学会が開催されておりますが、私も可能な限り出席し、地方獣医師会や会員構成獣医師の皆様方の現場の意見を直接お伺いしているところです。特に販売用犬猫のマイクロチップ情報登録及び狂犬病予防法に基づく犬の登録に関する課題等につきましては、いろいろなご意見をお伺いし、地方獣医師会、会員獣医師にとっても現実的かつ有効な制度となるよう今後とも努めてまいります。

さらに、今月20日には全国獣医師会会長会議を開催いたします。こちらでも、全国の獣医師会長の皆様と本会事業の円滑かつ適正な運営のための情報交換、意見交換をさせていただきます。なお、会議終了後は私のWVA次期会長就任祝賀会を開催いただき、皆様のお心遣いに心よりお礼を申し上げる次第でございます。このような皆様のご期待に応え、地球の健康を守るべくワンヘルスの取組推進に向け、決意を新たにしているところでございます。

翌21日には、動物感謝デーが開催されます。今回は駒沢オリンピック公園を会場として、動物愛護週間の中央行事と同時開催といたします。昨年と比べ残暑も懸念される時期ですが、人、動物とも十分な熱中症対策を講じる予定であります。当日は、多数の皆様にご出席、ご参加いただきますよう、お待ちしております。

本日は、本会の事務事業の見直し、組織運営の在り方をはじめとする重要な課題について、ご協議をいただきます。皆様方には何とぞ忌憚のないご意見をお寄せい

ただき、本会の適正な運営にご尽力を賜りますよう心からお願いを申し上げます、私の挨拶といたします。

【決議事項】

第1号議案 賛助会員の入会に関する件

伏見専務理事から資料に基づき説明され、異議なく了承された

【協議事項】

本会事務・事業の経費削減・改善案に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき本会事務・事業の経費削減・改善案について説明された。獣医学術学会年次大会、インターペット等の広報事業、助成・補助事業、日本獣医師会雑誌提供事業等について、意見交換がなされた後、今後の方向性について了解されるとともに、地方会及び関係者の意見を十分聴取したうえで引き続き対応することとされた。

【説明・報告事項】

1 マイクロチップの登録等に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき、環境省において検討が進められている①犬猫の販売時の説明義務にマイクロチップの変更登録等を追加、②犬の転出時における狂犬病予防法特例制度参加市町村への情報提供、③マイクロチップの脱落等における手続の規定について説明された。確実な登録推進のため、現行制度における課題解決に向けた省令改正等の対応が図られる予定であることが説明された。

また、狂犬病予防法に基づく犬の登録について、登録の正確性が揺らいでいることや動物愛護管理法第39条の7に定める狂犬病予防法の特例に参加した自治体等で犬の登録手数料を無料とするなどの事例があることに係り、日本獣医師会が犬の登録と手数料収納を行えるシステムを自治体に提供し、これを活用して自治体と地方獣医師会が従来から行っている狂犬病予防に係る事業を発展させ、飼育者の利便性向上による登録率と接種率の向上を図る準備を進めていることが説明された。

なお、AIPO事業の運営についての質疑に対し、上記システムの構築を第一とし、その完成に伴いAIPOの役割は縮小されると思われる旨回答された。

2 政策提言活動等に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき、今後の動物愛護管理法の改正に向け、現在は全く規定されていない動物愛護管理法における獣医師の役割について、「動物の所有者の責務に係る措置の適正な運用を支援するとともに監視・指導及び助言に努める」旨を明確に定めること、及びこちらも全く規定されていないマイクロチップ装着・

登録の目的について、法第7条第6項に定める動物の所有者明示のためであることを明記し、犬猫の飼い主への返還及び情報の正確性向上、適性使用の推進等、国民の利便性の向上を図るため、速やかに獣医師によるマイクロチップ情報の検索を可能とする規定を設けることについて自由民主党どうぶつ愛護議員連盟、公明党獣医師・動物看護師議員懇話会、同環境部会、及び同動物愛護管理推進委員会あて要請を行ったことが説明された。

3 認定・専門獣医師制度に関する件

伏見専務理事から、資料に基づき日本獣医師会に設置された認定・専門獣医師協議会が7月24日付けで農林水産大臣から大臣指定認定要件確認機関として指定を受けたこと、また、現在、7団体15資格が認証され、今後認定獣医師が輩出される見込みであり、認定資格と氏名の公表がなされるとともに、ホームページ等で広告することが可能となることが説明された。

なお、類似した名称の資格について、誤解が生じる旨の質疑があり、協議会の中で認定要件に基づき混乱しないよう対応する方向に努めたい旨回答された。

4 第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和6年度）の開催等に関する件

伏見専務理事から、令和7年1月24日から26日に仙台で開催される第42回日本獣医師会獣医学術学会年次大会について、参加登録料及び協賛料金の一部を値上げすることが説明された。

5 令和6年度動物愛護週間中央行事及び2024動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催に関する件

伏見専務理事から、令和6年度動物愛護週間中央行事及び2024動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” の開催に関する件の開催概要が説明された。

6 第23回アジア獣医師会連合（FAVA）大会の開催に関する件

伏見専務理事から、10月25日から27日まで韓国のテジョンで開催される第23回アジア獣医師会連合（FAVA）大会の概要が説明された。

7 世界獣医師会大会（WVAC）の日本開催に関する件

2026年4月に開催を予定している世界獣医師会大会について、運営を委託する会議運営会社の選定の結果、日本コンベンションサービス株式会社に決定したことが報告され、今後、関係する委員会等を立ち上げて鋭意準備を進めることが説明された。

8 特別委員会及び部会委員会に関する件

ワンヘルス推進検討委員会について草場理事から、マイクロチップ普及推進検討委員会について鳥海副会長から説明された後、部会委員会全体について伏見専務理事から、産業動物臨床部会について立川理事から、小動物臨床部会について森理事から、職域総合部会女性獣医師活躍推進委員会について栗本副会長から、動物福祉・愛護部会について佐伯理事からそれぞれ説明された。

なお、小動物臨床部会の小動物臨床委員会については、遠隔診療に関する質疑があり、本委員会の中間取りまとめの内容を念頭に対応する方向である旨説明された。

9 公益社団法人日本獣医師会 藏内勇夫会長 世界獣医師会（WVA）次期会長就任祝賀会に関する件

伏見専務理事から、祝賀会の開催概要が説明された。

10 職務執行状況に関する件（業務運営概況等を含む）

伏見専務理事から本年5月1日から7月31日までの概況が説明された。

【連絡事項】

1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

伏見専務理事から当面の関係会議等の開催日程が説明された。

2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

伏見会計責任者から、関連会議への出席、要請活動等について説明された。

【閉会】

藏内会長から全ての議案が終了した旨報告され、円滑な議事進行への協力にお礼が述べられた後、事務局から閉会が告げられた。